

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 平成30年度コンソーシアム通常総会を開催しました

去る5月15日(火)、岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムの通常総会を開催しました。会員企業・団体から、計115名の参加をいただき、盛会に行われました。

当日は涌井理事長に議事運営をいただき、昨年度の決算と今年度の事業計画、役員改選、規約の改正など、6つの議案について全て原案通り承認をいただきました。

通常総会終了後は、今年度より新規に会員となられたナイス(株)の平田恒一郎社長に「国産材利用拡大に向けた国内外の取組み」と題してご講演をいただきました。

また、会場の後方には、今年度の新規会員やワーキンググループの取組みを紹介する展示コーナーを設け、多数の来場の皆様にご覧になっていただくことが出来ました。

承認いただきました今年度の事業計画に沿って、ワーキンググループの活動を中心に活発に取り組んでまいりますので、今後も会員の皆様からの積極的なご参加をお願いいたします。



● 早生樹（コウヨウザン）の試験施工を開始しました

保育の合理化WGでは、早期の成長・収穫が期待される早生樹(コウヨウザン)の導入に向けて、県内では初めて、適性を検証する試験施工を開始しました。

コウヨウザンは、ヒノキ科コウヨウザン属の常緑針葉樹で、中国南部と台湾が原産地となっており、生育に適した森林は、照葉樹林帯であるとされています。

今回は、(有)古川林業と土岐市鶴里生産森林組合の協力を得て、寒冷な地域として、5月18日に郡上市八幡町と美並町に2箇所、温暖な地域として、5月31日に土岐市鶴里地内に2箇所、合計40本のコウヨウザンを植栽しました。

試験地周辺では、ニホンジカや野ウサギによる食害もあることから、コンソーシアムで検証している欧州製獣害防止用資材(Tubex)も同時に施工しています。このTubexは、獣害防止効果の他に、植栽木の成長促進効果もあることから、下刈りなど保育作業の省力化も期待されます。

今後も、試験地を増やし、生育状況の検証を重ねることで、数年後には、コウヨウザンが造林補助対象樹種として指定されることを目指します。



コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com